

太佐豊春（1921～2005）は、宮崎県西都市出身の画家です。瑛九と出会い15歳で絵画制作を始めると、翌年には自由美術家協会展に入選を果たします。その後個展などを通じて高く評価されましたが、画壇とは距離を置き、独自の道を歩みました。

戦争によりしばらく制作を中断していた太佐は、終戦後制作を再開し、1950年には瑛九と共に絵画グループの結成に関わるなど、改めて制作と向き合うことになりました。1953、54年の県展（後の宮日展）では特選を連続受賞し、1958年に東京で初個展を開くと、作品発表の場を宮崎だけでなく東京にも広げ、画家として充実した日々を送りました。

ここでは、太佐の充実期と言える1955年から60年頃に制作された素描とスケッチを中心に紹介します。人間の心の奥底にひそむ暗い部分など、目に見えないものをテーマに独自の表現を追求した、太佐のドローイングの世界をお楽しみください。

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
1	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1955（昭和30）	52.0×38.4	素描
2	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1955（昭和30）	54.4×38.4	素描
3	瑛九	1911～1960	シグナル(B)	1955（昭和30）	23.6×18.0	エッチング
4	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1956（昭和31）	54.0×37.8	素描
5	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1956（昭和31）	54.9×38.4	素描
6	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1957（昭和32）	53.9×38.0	素描
7	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1958（昭和33）	53.9×38.0	素描
8	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1959（昭和34）	37.9×26.9	素描
9	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1959（昭和34）	37.9×27.0	素描
10	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1959（昭和34）	37.9×26.9	素描
11	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1959（昭和34）	54.2×37.9	素描
12	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1959（昭和34）	54.1×37.9	素描
13	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1959（昭和34）	54.7×38.8	素描
14	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1959（昭和34）	54.0×37.9	素描
15	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1959（昭和34）	54.8×38.7	素描
16	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1960（昭和35）	38.0×27.0	素描
17	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1960（昭和35）	38.0×27.0	素描
18	太佐 豊春	1921～2005	題不明	1960（昭和35）	36.3×25.6	素描
19	太佐 豊春	1921～2005	題不明	不明	54.4×38.8	素描
20	太佐 豊春	1921～2005	処刑の森	1968（昭和43）	109.2×79.0	水墨、インク
21	太佐 豊春	1921～2005	地霊 其の二	1973（昭和48）	79.7×109.0	水墨、水彩